

01 統合医療のための漢方医学研修プログラムについて

医師向け・鍼灸師向け

臨床で使える漢方・四診・接触鍼・医療連携を、1つの学びにまとめたプログラム

現代医療と統合して、 漢方薬と鍼灸を併用するための 知識と技術を学ぶ。

広島大学病院漢方診療センターの講師陣から、オンデマンド講義と対面実技を通じて学べる教育プログラムです。

学べる中核

- 四診を軸に、所見の取り方・評価・治療のつなぎ方が分かる
- 接触鍼を含む低侵襲の実技を、症例ベースで学べる
- 医師と鍼灸師が連携しやすい共通言語と記録の視点が身につく

医鍼連携が必要となる背景

- がん関連倦怠感など西洋医学のみでは対応が難しい症状や患者の増加
- 安全で低侵襲な補完医療への期待
- 医師と鍼灸師の共通言語不足（教育制度）
- 臨床研究に基づく統合医療教育の不足

講師陣は広島大学漢方診療センタースタッフ



02 このセミナーが選ばれる3つの理由

研究や論文の話だけで終わらず、臨床と連携に落ちる設計になっている

理由1 臨床現場から逆算

症例を交えて所見の取り方、評価、治療方法を解説。漢方薬と鍼灸を併用する意味まで学べます。

症例ベース

広島大学病院 漢方診療センター

Study
研究

基礎的研究や海外の大学院生、
研究者の受け入れ。
海外との研究協力。

漢方医学を通して世界平和を

Medical care
医療(臨床)

最新の診断技術に
漢方医学独自の
診療アプローチ。

Education
教育

医学部教育や
国際的な人材育成。

エビデンスベースの
統合医療の実践モデル

理由2 共通言語ができる

医師は鍼灸を紹介できる判断力を、鍼灸師は医療連携に必要な記録・共有の視点を獲得できます。

病鍼連携



認定鍼灸師は医療連携
ネットワークに参加

理由3 実技で身体化できる

接触鍼を中心に、脈診・腹診・切診まで対面で反復。動画だけでは身につけにくい部分を補えます。

接触鍼実技



臨床現場で使える接触鍼
(CNT) の標準プロトコル

広島大学病院漢方診療センターは、日本東洋医学会の指定教育病院であり、医師の専門医取得支援に加え、鍼灸師教育にも取り組んでいます。研究面でも、現代医学と協力しながらエビデンスに基づく漢方・鍼灸の実証を進めています。

03 医師向けセミナーのポイント

「鍼灸を知る」ではなく、「患者に提案できる選択肢として使える」ようになる

慢性疼痛、MUS、漢方薬単独では届ききらない症状に。

このプログラムは、医師が鍼灸を“安心して併用・紹介できる”ための基礎を、四診と症例ベースで身につける講座です。

セミナーで習得できること

- 漢方と鍼灸を同じ診療文脈で理解し、適応を判断できる
- 接触鍼など低侵襲の実際を知り、患者へ説明しやすくなる
- 信頼できる鍼灸師との連携イメージが具体化する
- 指定教育病院の現場感を持った講師陣から学べる

「鍼灸を学ぶ」ではなく、「患者に提案できる選択肢として理解する」。
漢方と鍼灸の併用を、現場で使える判断力へ。

JAMA
Network | Open.



Original Investigation | Pediatrics

Eppikajutsuto for Treatment of Lymphatic Malformations in Children A Nonrandomized Clinical Trial

Keiko Ogawa-Ochiai, MD, PhD; Seisho Sakai, MD, PhD; Isami Saeki, MD, PhD; Yuko Tazuke, MD, PhD; Shuichiro Uehara, MD, PhD; Akihiro Fujino, MD, PhD; Taki Nozaki, MD, PhD; Honggang Li, PhD; Motonari Nomura, MD, PhD; Reina Hoshi, MD, PhD; Naoki Shimajima, MD, PhD; Junko Ochi, MD; Shimpel Akiyama, MD, PhD; Sho Kurihara, MD, PhD; Kei Oyama, MD, PhD; Hideaki Sato, MD, PhD; Akihiro Kawahara, MD, PhD; Kenichi Yoshimura, MD, PhD; Yasushi Ohtsuka, MD, PhD; Keigo Osuga, MD, PhD; Hideki Ishikawa, MD, PhD

Abstract

IMPORTANCE Lymphatic malformations (LMs) are congenital vascular anomalies with limited treatment options. Eppikajutsuto, a traditional Japanese (Kampo) herbal medicine, is commonly used to treat inflammatory conditions and has been reported to reduce lesion volume in patients with LMs; however, data on its effectiveness in pediatric patients are needed.

OBJECTIVE To evaluate the association of eppikajutsuto with reduced LM lesion volume in pediatric patients with LMs.

DESIGN, SETTING, AND PARTICIPANTS This open-label nonrandomized clinical trial was conducted from April 14, 2021, to September 30, 2024, at multiple centers in Japan. Eligible participants were 18 years or younger with a confirmed diagnosis of LM by imaging. Data were analyzed from October 14, 2024, to March 4, 2025.

INTERVENTION Participants received eppikajutsuto granules (0.6 g/kg/d to \leq 7.5 g/d) orally for 6 months.

Key Points

Question Is eppikajutsuto, a traditional Japanese (Kampo) herbal medicine, associated with reduced lesion volume among children with lymphatic malformations (LMs)?

Findings In this nonrandomized clinical trial of 19 children with LMs, 10 (53%) achieved a 20% or greater reduction in lesion volume at 6 months. No serious adverse events were reported.

Meaning These findings suggest that eppikajutsuto was associated with a reduction in lesion volume and was well tolerated in children with LMs.

04 こんな鍼灸師（学生）にお勧めします。

病院志向にも、開業連携志向にも、接触鍼の深化にも応える

病院で働きたい

大学病院で求められる知識と手技を、ただ知るだけでなく“通用する形”で学ぶ。

広島大学病院の鍼灸師研修生では、本プログラムへの参加が必須。

病院勤務を目指すなら、学びそのものがキャリアの入口になります。

- 漢方外来・鍼灸外来の見学、診療サポートの視点が得られる
- 接触鍼法を中心とした実技研修へつながる
- 医療連携や記録・報告の感覚が身につく

認定鍼灸師の連携（院内）
医師→漢方専門医→認定鍼灸師

開業連携・接触鍼を深めたい

所見の取り方、評価、接触鍼の手の作り方まで反復して学べるので、「独学では曖昧だった部分」が臨床で再現可能になります。

紹介・逆紹介を意識した共通言語づくりにもつながります。

- 少人数の実技練習会で、接触鍼を中心に反復できる
- 医師とつながる際に必要な説明力・症例の見立てが磨かれる
- 修了認定や医療連携講座まで視野に入れられる

認定鍼灸師の連携（院外）
病院・クリニック（漢方専門医）→鍼灸院（認定鍼灸師）

認定鍼灸師制度

- 本研修プログラム修了後、臨床能力と医療連携能力の審査に合格した鍼灸師
- 診療記録（SOAP）、症例発表、基礎医学、医療面接、臨床技術審査を総合評価
 - 認定鍼灸師として医師・漢方専門医と共通言語で症例を共有する
- 病院・クリニックとの病鍼連携（統合医療）を担う（上記のように院内、院外）

04-1 認定鍼灸師の活躍の場

病院志向にも、開業連携志向にも、全国で活躍できます。

病院内で働きたい（広島・広島大学病院）

広島大学病院内で他科医師から漢方医、鍼灸師への院内紹介を開始し、外来患者と緩和ケア病棟入院患者への施術を行っています。



認定鍼灸師の連携（院内）
医師→漢方専門医→認定鍼灸師

病院内で働きたい（広島・セラピア）

シムラ病院に隣接して附属鍼灸院「セラピア」を開設し、外来患者への施術と入院患者、附属施設への往診を行っています。



認定鍼灸師の連携（院内）
医師→漢方専門医→認定鍼灸師

開業連携（石川・二十人坂鍼灸院）

金沢市で開業している「二十人坂鍼灸院」は漢方外来を開設する二ツ屋病院の連携鍼灸院として紹介患者の施術を行っています。



認定鍼灸師の連携（院外）
病院・クリニック（漢方専門医）
→開業鍼灸院（認定鍼灸師）

病院内で働きたい（石川・倉光鍼灸院）

公立松任中央病院が敷地内に附属鍼灸院「倉光鍼灸院」を開設。連携鍼灸師が、漢方外来、一般外来との連携を行っています。



認定鍼灸師の連携（院内）
医師→漢方専門医→認定鍼灸師



05 医師・鍼灸師・薬剤師など資格ごとのコース設定

興味を“行動”に変えるため、対象別コースと申込先を一目で整理

医師

132,000円
学生 66,000円

必修：経方理論[
四診鍼灸]・漢方
古典

鍼灸師

165,000円
学生 82,500円
(認定試験料込)

必修：経方理論・
経方実技・漢方古
典

薬剤師

93,500円
学生 66,000円

必修：漢方古典・
漢方薬講座

修了生

66,000円
認定生 33,000円

学び直し・継続受
講向け

月額型

11,000円
/月

実技な
し・症
例検討
会あり

現代医療と統合できる漢方・鍼灸を、
「理論」「実技」「連携」の3層で学ぶ。
それが、このセミナーの価値です。

各種リンク



申込QRコード



申込ページ: kampo-inc.co.jp/kampo-seminar/ | お問い合わせ: kampo.inc.hiroshima.university@gmail.com